

様式第2号（第3条、第6条、第7条及び第8条関係）

事業計画書（実績書）

令和8年3月31日

団体名 あおぞら会

事業の目的 （何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。）	・障害児の交流と親の親睦を図る。 ・親としての悩みを共有し、解決策を探る。 ・子供の集団行動での様子をみながら、個別支援教育に活かす。
事業の名称	あおぞら会
事業費 （市補助金）	107,360 円 （56,000 円）
補助金の使途 （団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。）	「役員会」：年間計画に基づき会議を実施。 「あおぞら会案内資料配布」：5月実施。（印刷代） 「夏祭り」：8月実施。（会場費、材料費、謝礼等） 「勉強会」：11月と令和8年2月実施。（会場費等） 「クリスマス会」：12月実施。（会場費、材料費等） 「あおぞらだより」：9月、令和8年1月発行。（印刷代） 助成金は会場費、材料費、印刷代、謝礼に充当した。
事業実施期日	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
事業実施場所	吉美農振センター（綾部市多田町寺田2番地の2）など
事業の概要 （事業の実施方法、内容について記入してください。）	・「役員会」 年間計画に基づき会合を行い、企画運営に向けて準備を行った。 ・「あおぞら会案内資料配布」 あおぞら会の案内、会則、活動報告、行事計画の案内を各家庭に配布した。 ・「夏まつり」 8月16日吉美農振センターで実施。バーベキュー、流しそうめん、木の工作、水遊び、スイカ割りなど行い、50名程度が参加し親睦を深めた。 ・「勉強会」 来年度通して計4回を計画。障害者支援課、こども支援課に

	依頼。 11月19日『卒業後の進路と福祉制度について』 講師：綾部市障害者支援課 朝子聖衣奈 様 2月27日『家庭で無理なく楽しく、子どもの「できた!」「わかった」を増やすために』 講師：健康こども部こども支援課 発達支援担当 主任 南田真由美 様 温かな雰囲気の中、計30名程度の参加があり学ぶことができた。 ・「クリスマス会」 12月20日吉美農振センターで実施。ゲームや出し物、ビンゴ、クリスマスケーキ作り等を行い、45名程度が参加し親睦を深めた。 ・「あおぞらたより」 昨年度より継続して9月と令和8年1月の計2回発行。夏まつりやクリスマス会の活動報告を行い、より多くの方への周知を図った。
補助金の効果(成果) (計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。)	本年度は、助成金を活用し、恒例の夏まつりやクリスマス会に加え、来年度に続くシリーズ化した勉強会を行うことができた。また、『あおぞらたより』を発行し、少しでも多くのご家庭に「あおぞら会」を知ってもらえるよう働きかけた。 成果としては、行事を企画し運営することで、障害をもつ子と親の「居場所」や「交流の場」を作ることができ、会員や関係者の参加も増加し、少しでも幸せを感じてもらった時間になったのではないかと感じる。 勉強会では、障害者支援課、こども支援課の方々にご協力いただき、大変有意義な学習をすることができた。勉強会を通して、あおぞら会の活動自体に初めて参加される方もおられ、親として情報を得たい、学びたいという気持ちに応えられる機会ができたのではないかと感じる。講師の方々のおかげで、とても穏やかで温かな勉強会となった。ご支援いただき、ありがとうございました。

様式第4号（第3条、第7条及び第8条関係）

収支予算書（計算書）

令和8年 3月31日

団体名 あおぞら会

（単位 円）

収 入 の 部	区 分	予算額	収入済額	明 細
	市補助金	56,000	56,000	綾部市からの助成
	寄付金		17,383	円応教からの寄付
	参加者負担金	75,000	28,000	（会費） 夏祭り13,000円 クリスマス会15,000円
	繰越金		5,977	前年度からの繰越金
	合 計	131,000	107,360	
支 出 の 部	区 分	予算額	支出済額	明 細
	事業費	100,000	91,868	総会1,500円 夏祭り39,436円 勉強会4,000円 クリスマス会46,932円
	活動費	20,000	3,000	会議年間使用料3,000円
	事務費	11,000	8,492	円応教へのお礼2,484円 事務用品代6,008円
	負担金		4,000	人権教育推進連絡協議会会費 1,000円 作業所を育てる会会費 3,000円
	合 計	131,000	107,360	
差 引		0	0	